

6年生

この12月は、6年生にとって、
大変貴重な体験が盛りだくさんの月となりました。



美しい日本語



劇団四季の俳優さんたちが久我山小の6年生に、「美しい日本語の発音の仕方」について指導してくださいました。

春に「こころの劇場」で劇団四季の舞台を見たことを思い出していた子どもたちですが、まさか、あの舞台で演じていた俳優さんが久我山小の視聴覚室に来てくださるなんて！！感激して夢中でお話に聞き入っていました。

母音を意識するために、「明日は雨だけど学校へ行こう。」を母音だけで話しました。指導前と後とでは、明らかに発音の仕方が変わっているのに驚きました。

模擬裁判

社会科見学の事前学習として、裁判について弁護士の先生方からお話を伺いました。担任、弁護士の先生方が、犯人や検察官、弁護人、裁判官などの役になって裁判の様子を演じました。子どもたちは事件の内容や裁判でのやりとりなど、注意深く見聞きして、何を根拠にどう判断するのか、悩みながらも自分の考えをもち、意見を交流しました。



能体験



高橋忍先生はじめ、5名の能楽師の方々に能のご指導をいただきました。

実際の「能」の舞台で使われている笛や太鼓、鼓などを、子どもたち一人ひとりが手に取って音を出す体験をさせていただきました。「音が出ない！難しい！」と何度も挑戦しました。初めての挑戦で楽器を鳴らせる子がいると、みんな自分のことのように喜んで拍手喝采していました。



戦争体験のお話

社会科で戦争について学習してきました。教科書だけでは想像もつかないようなお話を、実際に戦争を体験された方から直接伺いました。広島に原爆が落とされたその瞬間、自分がどうしていたのか、周りはどんな様子だったのか、イラストや写真のスライドを使って話してくださいました。

2度と戦争を起こさない未来を自分たちが作っていかなくてはと、子どもたちは真剣に振り返りました。

